



特集

平成21年度
事業実施計画

センター事業から
女性に対する暴力の問題に関する講演会
センターサポーター'Sコーナー
薩摩の歴史にみる“男女共同参画”

インフォメーション(委託団体募集)
女性に対する暴力の問題に関する意識啓発
県民に対する「仕事と生活の調和」のための意識啓発
女性のチャレンジ支援

グループ紹介
共生ネットワークTekuTeku

相談室から
パープルリボンツリー

相談室から

パープルリボンツリーについて

もし、あなたがDV被害者から相談を受けたとしたら…
まず、「あなたには悪くありません」と伝えてください。

そして、配偶者暴力相談支援センターに相談するように勧めてください。

DV(ドメスティック・バイオレンス)は単なる「夫婦げんか」ではなく社会的な地位や経済力などの「力」のあるほうが、様々な暴力で相手を支配しようとする行為です。

DVの与える影響はたいへん大きく、被害者は、暴力を受けることへの恐怖はもちろんです。DVから逃げるのが困難な心理と社会的背景にがんじがらめになっています。そして、多くの被害者は「誰にも相談していないし、ようやく相談する先は「友人・知人」「家族・親戚」となっています。しかし、「DVとはこういうものだ」という「思い込み」が事実とは異なるにもかかわらず一般的に信じられているのが現状です。

DVをなくすためには、周囲の人々のDVに対する正しい理解が必要です。被害者にとっては理解があるだけで大きな支援になります。

我慢の限界を超えた時、一人で背負いきれなくなった時に、被害者は一番信頼できる人に相談することでしょう。その時には「あなたは悪くない」ということを伝えて、被害者の話を聞き配偶者暴力相談支援センターについての情報を提供してください。相談できる場所があることを伝えることは大切な情報提供のひとつです。

きっと、あなたの言葉が被害者を救う第一歩になるでしょう。

パープルリボンの
作品をつくりませんか?

パープルリボンは、私たちの社会・地域・学校そして一番大事な家庭から暴力をなくすためのシンボルです。パープルリボンを身につけてDVへの理解を広めましょう。

センターでは1階交流サロンにパープルリボンツリーを設置して来館者にパープルリボンを結んでいただいておりますが、ツリーがリボンでいっぱいになると、そのリボンを使って作品を制作してきました。多くの方々の思いがこもった素晴らしい作品はサロンに展示しています。

センターではパープルリボンを使った作品を作成して下さる方を募集しています。(個人・団体は問いません)

●作成を希望される団体は、男女共同参画センターまでお申し込みください。



1Fサロンに設置されているパープルリボンツリーと作品

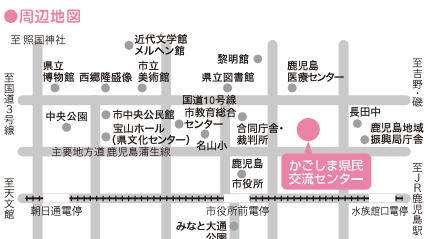
県男女共同参画センター相談室 相談専用電話 099-221-6630/6631
(配偶者暴力相談支援センターに指定されています。)

お知らせ

男女共同参画サロンのご案内

- ミーティングルーム
1階男女共同参画サロンにミーティングルームを設置しています。男女共同参画社会づくりに向けて自主的に取り組んでいるグループ等を対象に、打合せやグループ間の交流に使用できます。(要事前予約：2階事務室まで)
- 図書の出貸
サロンにある男女共同参画に関する図書の出貸を行っています。
貸出冊数 一人につき5冊まで 貸出期間 14日以内

かごしま県民交流センター 施設利用 施設の利用は有料で、使用許可申請が必要。生命と環境の学習館、県政記念館の観覧は無料。



編集後記

2009年、今年で男女共同参画社会基本法は制定10年目を迎えます。この10年間で、制度は整ってきました。この制度を元にして、取り組みを推進していく次のステップに踏み出す時期にきています。県も、男女共同参画地域推進員制度を本格的にスタートしました。センターも事業を一新し、次のステップへ踏み出します。この10年間で培ったものを糧にして、力を合わせて男女共同参画社会の実現を目指していきましょう。

交通案内

- JR
鹿児島中央駅から鹿児島までJR 約5分
鹿児島駅から徒歩 約10分
- 市電・市バス
「鹿児島市役所前」下車徒歩 約5分
「水族館口」下車徒歩 約5分
- 駐車場
約530台収容 150円/30分
※センター利用者は2時間まで無料



編集・発行
鹿児島県男女共同参画センター
(かごしま県民交流センター内) 〒892-0816 鹿児島市山下町14-50
●「ハーモニー」の掲載記事(バックナンバーを含む)は、センターホームページにも掲載しております。

TEL 099-221-6603
FAX 099-221-6640
Eメール harmony@kagoshima-pac.jp
ホームページ http://www.kagoshima-pac.jp

特集

平成
21年度

事業実施計画

★印は委託事業

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 県民に対する「仕事と生活の調和」のための意識啓発（北薩地区で実施予定）★										講演会 ワークショップ		
2 男女共同参画地域講座（和泊町）					●							
3 センターサポーター制度	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4 学校等への男女共同参画お届けセミナー	募集 締切5/31	高等学校5校で講師による講話を実施します。										
5 男女共同参画基礎講座					7/18・8/1・8/22・9/5の予定です。							
6 男女共同参画地域協働推進講座（各地区2日間）						始良・伊佐地区 （加治木町）	大隅地区 （鹿屋市）	熊毛地区 （西之表市）				
7 若者による暴力未然防止の活動の支援★								ワークショップ				
8 女性に対する暴力の問題に関する講演会等★								講演会等				
女性の チャレンジ支援	9 キャリアアップ支援講座★								●			
	10 チャレンジ支援講座★										●	
11 企業の管理職等との情報交換会										●		
相談事業	電話相談・面接相談（面接相談は、事前にお電話でご予約ください。）											
専門相談	法律相談（第1・3火曜日）、メンタルヘルス相談（第3木曜日）、男性のための心理相談（第2土曜日） ※事前の予約が必要です。											
相談業務研修会							●					
12 ピアカウンセリング事業（第3土曜日）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
13 「女性に対する暴力をなくす運動」関連事業★								法律相談 （個別セッション）				
情報提供事業						17号発行						18号発行
図書・ビデオ・パネル等貸出	図書の貸出冊数は一人につき5冊まで、貸出期間14日間以内です。ビデオ・パネル等は団体等に貸し出します。											

※実施期日は予定であり、変更することもあります。

7 若者による暴力未然防止の活動の支援
大学や短大の自主サークル等の活動を支援しながら連携して、暴力未然防止の活動の機運を高め、若者に対し啓発するワークショップを実施する事業です。

8 女性に対する暴力の問題に関する講演会等
国の「女性に対する暴力をなくす運動」に合わせ、DV等女性に対する暴力の問題について県民の皆さんに広く理解していただくために講演会・シンポジウムを実施する事業です。

9 キャリアアップ支援講座
キャリアアップを目指す女性を支援するため、キャリアデザインや管理職としてのセルフマネジメントを学ぶ講座です。

10 チャレンジ支援講座
女性の就労等を支援するため、女性のライフデザインと就業の考え方やストレス対処法などを男女共同参画の視点から学ぶ講座です。

11 企業の管理職等との情報交換会
企業の管理職等とキャリアアップや再就職を目指す女性等を対象に、情報交換会を開催します。

12 ピアカウンセリング事業
若者の話を聞き合い、悩みの解決の手だてを共に考える活動です。相談を受けるのは、年齢や立場が同じような人＝ピア（仲間）です。毎月第3土曜日の13:00～17:00県民交流センター1階ミーティングルームで実施します。

13 「女性に対する暴力をなくす運動」関連事業
国が定める「女性に対する暴力をなくす運動」（11月12日～25日）の一環として期間中に街頭キャンペーンや「女性のための法律110番」等を実施します。

1 県民に対する「仕事と生活の調和」のための意識啓発（北薩地区で実施予定）
県民一人ひとりをもっと社会や企業にとっても不可欠とされる「ワーク・ライフ・バランス」の内容や実現に必要なことなどを講演会、ワークショップの実施をとおして啓発していきます。今年度は、北薩地区で実施予定です。

2 男女共同参画地域講座
離島などセンターから遠隔地にある地域を対象に、地域における男女共同参画社会の実現を目指して実施する講演会です。今年度は、和泊町で開催します。

3 センターサポーター制度
養成講座を修了した方を対象にセンターサポーターとして登録し、センター事業に共に活動し協力していただく事業です。

4 学校等への男女共同参画お届けセミナー
高校生等に対して、交際相手からの暴力の問題について考える機会を提供し、加害者にも被害者にもならない暴力未然防止の意識啓発のため講師を派遣し、「デートDV」に関するセミナーを実施します。

5 男女共同参画基礎講座
地域、職場等において、社会的性別（ジェンダー）の視点をもった男女共同参画の推進役となる人材養成を目的として、男女共同参画社会づくりの推進に必要な基礎知識と手法を学ぶための連続講座を開催します。（4回連続講座）

男女共同参画基礎講座生募集

<p>日時 7月18日(土)、8月1日(土)、 8月22日(土)、9月5日(土) 毎回13:15～16:45</p> <p>場所 かごしま県民交流センター 研修室</p> <p>費用 無料</p>	<p>対象・定員 毎回受講できる 県民50名程度 (先着順)</p> <p style="text-align: center;">託児 (要予約)</p>
---	--

※締切は6月30日(火)

申込方法 はがき、TEL、FAX、Eメールで氏名・年齢・住所・連絡先電話番号をお知らせください。

6 男女共同参画地域協働推進講座
地域に根ざした推進活動を行っていただく男女共同参画地域推進員を養成するための講座です。今年度は、始良・伊佐地区（加治木町）、大隅地区（鹿屋市）、熊毛地区（西之表市）で実施します。（各地区2日間）

男女共同参画地域協働推進講座生募集

<p>場所・日時 ①始良・伊佐地区 始良・伊佐地域振興局 本庁舎 9月予定</p> <p>②大隅地区 大隅地域振興局 本庁舎 10月予定</p> <p>③熊毛地区 熊毛支庁舎 11月予定</p>	<p>費用 無料</p> <p>対象・定員 県内に居住し、地域における男女共同参画の推進に熱意と奉仕的精神がある方</p> <p>・各講座50名程度</p> <p><small>※応募多数の場合は、別に定める選考基準により受講者決定</small></p>
--	--

※締切や詳細等についてはお問い合わせください。

申込方法 所定の受講申込書に必要事項を記入のうえ、郵送、FAXまたはメールによりお申し込みください。

センター事業から

女性に対する暴力の問題に関する講演会

日時 平成20年11月15日(土) **講師** 宮本 博文さん
心のサポート・ステーション
場所 かごしま県民交流センター中ホール **コーディネーター** 青木 隆子さん
KTS鹿児島テレビ報道部記者
テーマ 「愛するふたりの
ホットでゆかいな関係
～対等なパートナーシップを求めて～」 **企画事業者** NPO法人
こころのサポートアミ



熱弁される宮本博文さんと青木隆子さん

講師自身と妻との結婚生活を題材にして、チェックシートを利用しながら、男女のより良いコミュニケーションについて講話をいただきました。今後のDV防止と予防、「互いがいきいきと生きられる夫婦関係」への意識啓発につながりました。



男女共同参画サポーターのメンバー達が
“今、会いたい人”に会いに行き、気になることを
直接聞いてしまおうというコーナーです。
今回は東川隆太郎さんにお会いしました。

薩摩の歴史にみる“男女共同参画”

激しい変革の時代に、しなやかさの中にも筋の通った生き方を貫き、政治の表舞台にも大きな影響を与えたという「篤姫」の存在は、私たちに新鮮な感動を与えてくれました。一方で、男尊女卑の風潮が特に強いとされる薩摩でこのような自立した女性が育ったことは驚きでもありました。そこで今回は、鹿児島島の歴史に詳しい「かごしま探検の会」代表の東川隆太郎さんに、男女共同参画の視点から見た薩摩の歴史についてお話を伺いました。

Q.薩摩における男尊女卑の歴史はいつ頃から始まったのでしょうか？

男尊女卑のイメージが強い薩摩ですが、史実をもとに制度があったわけでもなく、いつからそうだったかもしらねえとわかりません。風潮として人々の間にいつのまにか浸透していったものではないでしょうか。逆に、表舞台で活躍した女性の記録も残っていることから、「女性だから、男性だから」というのではなく、個人の能力によるものも大きかったのかもかもしれません。

Q.今よりも男尊女卑の風潮が強かった時代にも関わらず、女性が尊重されていた例や、男女共同参画がなされていた例があれば、具体的に教えてください。

民俗学的に見ると、昔は今よりもむしろ女性が尊重されていた例もあるんですよ。例えば、「舟魂(ふなだま)様」として、女性の化粧箱や髪を舟に祀って、航海の安全を祈願するという習慣。女性には男性とは違う特別な力があると考えられ、信仰の対象となっていたということです。また、薩摩はシラス台地に覆われ、台風も多いために米作りが難しく、そんな過酷な自然環境の中で生き抜くためには、

男女がともに地域で協働しなければならなかった、という面もあると思います。大正時代に鹿児島県が継襲した「薩摩婦人之鑑」という本には、種子島家第23代島主・久道の夫人「松寿院」のことが出てきますが、この人は早くに亡くなった夫の代わりに島主となり、河川改修や防波堤工事、塩田の創設など多くの事業を成したそうです。また、薩摩の花岡島津家の第2代当主久尚の夫人・岩子も、用水路建設に力を尽くし、その顕彰碑が今も残っています。

Q.東川さんは“地域づくり”にも力を注いでいらっしゃいますが、“地域づくり”に関して、女性に期待していることがあれば教えてください。

柔軟さを生かして、“食”や“家庭”、“人材の育成”などの分野で、さらに地域づくりに関わっていただきたいですね。グリーンツーリズムも男女の協働なしには成り立ちません。また、一般的に女性は長生き。その蓄積された知恵や知識を地域づくりに生かし、地域を支えていってほしいことを期待しています。

取材を終えて…

東川さんのお話を伺ううちに、かつての薩摩では過酷な自然環境の下で生き抜くために、男女が地域で協働していた

面、必要に迫られて性別による役割分担が固定化され、それがいつのまにか“男尊女卑”という風潮を強めていったのではないかと、ということに思い至りました。そんな時代にも、篤姫や松寿院、島津岩子という女性たちが存在し、“男女”というくくりではなく、個人の資質や能力によって活躍の場を与えられていたという事実は、私たちにまさやかな勇気を与えてくれました。ちなみに「松寿院」は西洋文化に明るく、開放的であったとされる第25代重豪の孫で、篤姫の伯母に当たる人だそうです。齊彬の影響を大きく受けた篤姫同様、育った環境や開かれた教育の影響もあったのではないかと。

最後に、「薩摩の歴史を“男女共同参画の視点”から見直すという作業は、僕にとっても初めてで、こういう視点もあるのだなあと新しい発見でした」と話してくださいました。東川さんの言葉も印象的でした。本当にありがとうございました。



熱心に話される東川隆太郎さん

Information

講座等の委託団体募集

女性に対する暴力の問題に関する意識啓発

「女性に対する暴力をなくす運動」の一環として、女性に対する暴力の問題について、県民の意識啓発を図るための講演会・ワークショップ等を開催いたします。

●自主企画事業実施委託団体募集

日程	平成21年11月14日(出午後)
場所	かごしま県民交流センター中ホール
内容	DV防止のための啓発事業(講演会、シンポジウム、調査研究の発表、活動事例報告、寸劇等の発表及びこれらの組み合わせなど)
対象	一般県民(150~200名程度)
募集団体	1団体
募集期限	平成21年4月15日(水)~5月15日(金)

●ワークショップ実施委託団体募集

日程	「女性に対する暴力をなくす運動」期間(11/12~11/25)の一日または半日(開催イベント等)
場所	かごしま県民交流センター研修室など
内容	若者によるアート・DV・DV未然防止のための啓発事業(調査研究の発表、活動事例報告、寸劇等の発表及びこれらの組み合わせなど)
対象	一般県民(1団体30~50名程度募集)
募集団体	2団体(大学や短大等の自主サークル等)
募集期限	平成21年4月15日(水)~5月15日(金)

県民に対する「仕事と生活の調和」のための意識啓発

「仕事と生活の調和」(ワーク・ライフ・バランス)の内容、実現に向けて必要なことなどの講演会・ワークショップ等を開催いたします。

●自主企画事業実施委託団体募集

日程	平成21年12月~平成22年2月の一日の午後
場所	北薩地域振興局管内
内容	男女共同参画の視点をもった「仕事と生活の調和」推進のための啓発事業(講演会、シンポジウム、調査研究の発表、活動事例報告、寸劇等の発表及びこれらの組み合わせなど)
対象	一般県民(150~400名程度)
募集団体	1団体
募集期限	平成21年5月1日(金)~5月31日(日)

●ワークショップ実施委託団体募集

日程	上記自主企画事業と同日の午前または午後
場所	北薩地域振興局管内
内容	男女共同参画の視点をもった「仕事と生活の調和」推進のための啓発事業(調査研究の発表、活動事例報告、寸劇等の発表及びこれらの組み合わせなど)
対象	一般県民(30~80名程度募集)
募集団体	1団体
募集期限	平成21年5月1日(金)~5月31日(日)

女性のチャレンジ支援

キャリアアップや再就職等を指す女性たちを支援するため、男女共同参画の視点から管理職として、また再就職に向けての心構えや必要な知識・技能の習得などを旨として講座を実施いたします。

日程	①キャリアアップ支援講座 平成21年12月(開催回数2回以上) ②チャレンジ支援講座 平成22年2月(開催回数2回以上)
場所	かごしま県民交流センター研修室など
内容	①キャリアアップを目指す女性を支援する講座 ②再就職を希望する女性を支援する講座
対象	一般県民(30名程度募集)
募集団体	①②を併せて1団体に委託
募集期限	平成21年5月1日(金)~5月31日(日)

※委託金額等については、下記にお問い合わせいただくか、HPをご覧ください。

お問い合わせは 鹿児島県男女共同参画センター TEL:099-221-6603 FAX:099-221-6640
Eメール:harmony@kagoshima-pac.jp

グループ紹介

共生ネットワーク
TekuTeku

に関する意識を深めるためのフォーラムを開催し、すでに始動している全国100箇所以上の女性関連施設にアンケートを取りました。それらを参考に、使う側の視点で要望をまとめ、鹿児島市議会に陳情として提出し、翌年、採択されるまで議会傍聴に通い市民参画を果たしました。

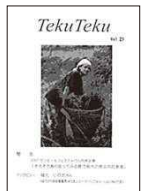
女性関連施設のアンケート結果のまとめ、フォーラムの記録、それを元に作り上げた私たちの要望の内容を「あごら243号」に「今なぜ女性センターか〜鹿児島の場合」という特集として掲載してもらい、本を編集するスキルも身につけていきました。

歩き始めた頃を振り返ると、TekuTekuは、政策決定の場にある男女との交流、女性の働きなど、自分たちの考えや立場を明らかにしながら、社会に意見を表明するために、どのような活動が可能か、試行錯誤を続けていました。自分たちにとっても多くの学びのあるワークショップの企画運営と、その報告や情報を発信し、不特定の人にも届けるために情報誌「TekuTeku」を発行することで、多くの人々と出会い、繋がり、また市民を繋ぐことができた実感しています。

現在21号まで発行した「TekuTeku」を手にと



「あごら」243号



情報誌「TekuTeku」21号